

第43回国際理解バス

令和6年8月22日 JICA 地球ひろばとブラジル大使館訪問

国際理解バス部長 中島 千恵美



8月22日、連日の猛暑が前日の降雨で幾分和らいだ朝。参加36名全員が保護者の皆様の見送りを受け、一路JICA地球ひろばへ。バスの中では引率者が様々なレクの準備をして、知識を広めたり参加賞に夢中になったり、和気あいあいとした雰囲気が感じられました。都内の

渋滞もさほどなく、バスは順調にJICA地球ひろばに到着。

案内人はガボン共和国の小学校に赴任した女性でした。ひろばでSDGSの達成状況の説明を受け、日本の持続可能な17ゴールの達成状況は世界第21位(2023統計)であること、多くの国々が達成の途上であることを学びました。その後、ひろばで自由に写真を撮ったり民族衣装を着たりして自主活動をした後、研修室へ移動。ガボン共和国の子ども達は学習環境が整っていない中でも、真剣に勉強していることや生活状況の説明を受けました。案内人は子ども達の明るい日常に接し、「人の幸せって何か」と自問し、「人は自分の生活環境の中で幸せを感じ、他人が押し量ることはできない」という答えを得たと結びました。





昼食はエスニック弁当、葡萄とおかわり自由な飲み物。



食後、フェアトレードの売店行くと、発展途上国が安定した収入を得るため公正な貿易が大切だという学習をしてきた子ども達はレジに列をなしました。

午後はブラジル大使館訪問でした。セーザ・イップ大使室室長兼広報外交・報道担当官がブラジル連邦共和国と日本との関わりやこれからのあり方などを説明されました（通訳官同席）。休憩中にブラジルの飲み物ガラナとお菓子を頂戴した後、子ども達はお礼を込めて武道や手作りの品々・歌・演奏・習字・俳句・コマ回し等々の日本文化を披露し、会場は和みました。



大使館訪問を通じて、ブラジルと日本が益々良い協力関係となることを願っています。また、大使館の皆様には50人近くの訪問者を迎えていただき、心より感謝申し上げます。





ブラジル大使館より 9月12日のInstagramに掲載していただきました。



駐日ブラジル大使館(@brazilembassyjp) • Instagram 写真と動画

<https://www.instagram.com/brazilembassyjp/>

QR コード

